



The Recitation of English ... **Fruits** くだもの (Grade 1)

右のクラスの課題文(かだいぶん) 配布日: 6/20(水)

© 主催: (財)日本LL教育センター LLシホヤ新井教室 [www.shihoya.com](http://www.shihoya.com)

I 部: GB

■8月29日(水)の「クラスよせん」までに、みんなのまえて、はっぴょうできるように、がんばってみましょう。えいごのちからを おおきくのばす 1年に1回のよいチャンスですよ。まちがいをこわがらず、ちいさなこえでも どうとうと こころをこめて いえるように、レッスン中のしどうを よくまもって、おうちでも たくさん れんしゅうしましょう。むりにはっぴょうさせることはしませんから、れんしゅうをたのしみましょう。★「CD付き資料代」¥500を集金させていただきます。

■校内大会予定日: 10月7日(日) 2:00? 5:00 at 勤研センター【コンテスト直前に英語劇を披露】  
⇒(I、IIの小1、2年より1~2名、II、III、IV部より小中各2名選出) ■「新潟県大会: 12月9日(日) at アオーレ・長岡」を予定。詳細が分かり次第、Shihoya Newsなどでお知らせいたします。

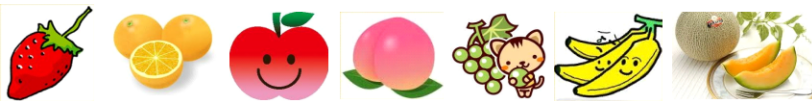
<全クラスの課題文は、[www.shihoya.com](http://www.shihoya.com) ⇒「Welcome to LL」⇒「2012・スピーチコンテスト」に掲載中! >

① Strawberries, oranges and apples.

① いちご、オレンジ、りんご。

Peaches, grapes, bananas and melons.

もも、ぶどう、バナナ、メロン。



② いろんなくだものがある。

わたし だいす  
私はみんな大好き。

② There are so many kinds of fruits.

I like all of them very much.



まる なが  
③ 丸いのや、長いのがあるよ。

③ Some are round, some are long.



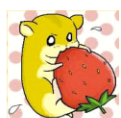
わたし す  
④ 私がいちばん好きなのは( )。  
とってもおいしいんだもの!



④ \_\_\_\_\_are my favorite!

They are so delicious!

⑤ あなたのいちばん好き  
なに  
なくだものは何?



⑤ Which fruit do you like best?

下線には、すきなくだもの  
の名前を: 個別に指導いた  
します。

レッスン中に、①のくだもの  
の絵と、④の絵を描きま  
す。

## 2012 #35 LL Speech Contest

### The Recitation of English Poem or Story ...

右のクラスの課題文(かだいぶん) 配布日: PB= 6/21(木), PS= 6/20(水)

© 主催: (財)日本LL教育センター LLシホヤ新井教室 [www.shihoya.com](http://www.shihoya.com)

PB



II部: PB, PS

■「クラス予選」: PB= 8/30(木)、PS= 8/29(水)までに、発表できるように、がんばってみましょう。英語の力を大きくのばす1年に1回のよいチャンスです。まちがいをこわがらず、小さな声でも心をこめられるように、レッスン中の指導を守って、お家でも根気よく練習しましょう。むりに発表させることはしませんから、練習を楽しみましょう。★クラス予選では③以上、校内大会では全文の発表です。★「CD付き資料代」¥500を集金させていただきます。

■校内大会予定日: 10月7日(日) 2:00? 5:00 at 勤研センター【コンテスト直前に英語劇を披露】  
⇒(I、IIの小1、2年より1~2名、II、III、IV部より小中各2名選出) ■「新潟県大会: 12月9日(日) at アオーレ・長岡」を予定。詳細が分かり次第、Shihoya Newsなどでお知らせいたします。

〈全クラスの課題文は、[www.shihoya.com](http://www.shihoya.com) ⇒「Welcome to LL」⇒「2012・スピーチコンテスト」に掲載中!〉

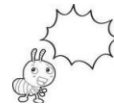
## The Ant and the Chrysalis あいとさなぎ(Grade 2)

① One day, an ant was walking in the garden. Suddenly, he saw a chrysalis hanging from a branch.



① ある日、ありが庭を歩歩いていました。すると、枝からぶら下がっているさなぎを見つけました。

② The ant said, "That's a shame. You must hang there. I can go anywhere!"



② ありは言いました。「かわいそうに。そんなところにぶら下がっているなんて。ほくは歩いてどこへでも行けるのにさ!」

③ The chrysalis heard the ant, but didn't say anything.

③ さなぎはありの声を聞きました。が、何も言いませんでした。

④ A few days later, the ant walked in that area again. He was surprised and said, "What happened? There's only an empty shell!"

④ 何日か後に、ありはまた同じ場所を通りました。ありは驚いて言いました。「どうしたんだ! 空っぽの殻しかないぞ!」

⑤ Then, the sky became dark and a wind came. It was a beautiful butterfly opening her colorful wings!

⑤ するとその時、空が暗くなつて、風が吹き始めました。美しい蝶が、カラフルな羽を広げたからでした。

⑥ "That's a shame. You can only run and climb. I can do much more!" said the butterfly. Then she flew away forever.

⑥ 「かわいそうに。走ったり登ったりすることしかできないのね。私はもっといろいろなことができるわ!」蝶は言いました。それから、どこまでも飛んでいきました。



## 2012 #35 LL Speech Contest

The Recitation of English Poem or Story ...

右のクラスの課題文(かだいぶん) 配布日: PB= 6/21(木), PS= 6/20(水)

©主催:(財)日本LL教育センター LLシホヤ新井教室 [www.shihoya.com](http://www.shihoya.com)

PB

PS

II部: PB, PS



■「クラス予選」: PB= 8/30(木)、PS= 8/29(水)までに、発表できるように、がんばってみましょう。英語の力を大きくのばす1年に1回のよいチャンスです。まちがいをこわがらず、小さな声でも心をこめられるように、レッスン中の指導を守って、お家でも根気よく練習しましょう。むりに発表させることはしませんから、練習を楽しみましょう。★クラス予選では③以上、校内大会では全文の発表です。★「CD付き資料代」¥500を集合させて頂きます。

■校内大会予定日: 10月7日(日) 2:00? 5:00 at 勤研センター【コンテスト直前に英語劇を披露】  
⇒(I、IIの小1、2年より1~2名、II、III、IV部より小中各2名選出) ■「新潟県大会: 12月9日(日) at アオーレ・長岡」を予定。詳細が分かり次第、Shihoya Newsなどでお知らせいたします。

＜全クラスの課題文は、[www.shihoya.com](http://www.shihoya.com) ⇒「Welcome to LL」⇒「2012・スピーチコンテスト」に掲載中！＞

## The Ant and the Chrysalis ありとさなぎ(Grade 2)

① One day, an ant was walking in the garden. Suddenly, he saw a chrysalis hanging from a branch.



① ある日、ありが庭を歩歩いていました。すると、枝からぶら下がっているさなぎを見つめました。

② The ant said, "That's a shame. You must hang there. I can go anywhere!"



② ありは言いました。「かわいそうに。そんなところにぶら下がっているなんて。ほくは歩いてどこへでも行けるのにさ！」

③ The chrysalis heard the ant, but didn't say anything.

③ さなぎはありの声を聞きましたが、何も言いませんでした。

④ A few days later, the ant walked in that area again. He was surprised and said, "What happened? There's only an empty shell!"

④ 何日か後に、ありはまた同じ場所を通りました。ありは驚いて言いました。「どうしたんだ！空っぽの殻しかないぞ！」

⑤ Then, the sky became dark and a wind came. It was a beautiful butterfly opening her colorful wings!

⑤ するとその時、空が暗くなって、風が吹き始めました。美しい蝶が、カラフルな羽を広げたからでした。

⑥ "That's a shame. You can only run and climb. I can do much more!" said the butterfly. Then she flew away forever.

⑥ 「かわいそうに。走ったり登ったりすることしかできないのね。私はもっといろいろなことができるわ！」蝶は言いました。それから、どこまでも飛んでいきました。





# 2012 #35 LL Speech Contest

## The Ridge Forest

(Grade 4)



### PC, A4 The Recitation

Ⅲ部: 次のクラスに在籍する小学生対象です。PC, A4 (下線: 中高生以上を含むクラス)

Ⅳ部: どのクラスであっても中高生以上が対象です。(A4, A3, A2, A1, AA, ASの中高生、成人)

右のクラスの課題文 配布日: PC= 6/18(月) A4= 6/18(月)  
© 主催: (財)日本LL教育センター LLシホヤ新井教室 [www.shihoya.com](http://www.shihoya.com)

■「クラス予選」: PC, A4 = 8/17(月) ■自立心 “Self-reliance” を高める良いチャンスです。最善を尽くしましょう。ミスをごわがらず、堂々と心をこめて言えるように、たくさん練習しましょう。■「校内大会」 予定日【**中高生以上の部**】: 9月2日(日) 5:00? 6:30 pm at LL School 【**小6以下の部**】: 10月7日(日) 2:00? 5:00 pm at 勤研センター【コンテスト直前に英語劇を披露 教室生徒、全員参加!】 ■クラス予選では③以上、校内大会では⑤までの暗誦です★「CD付き資料代」¥500を集金させて頂きま す。★⇒(Ⅰ、Ⅱの小1、2年より1~2名、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ部より小中各2名選出) ■県大会では: 小学生= 「この課題文」、中学生= 「自 作英文」 ■「新潟県大会: 12月9日(日) at アオーレ・長岡」を予定。詳細が分かり次第、Shihoya Newsなどでお知らせいたします。 <全クラスの課題文は、[www.shihoya.com](http://www.shihoya.com) ⇒「Welcome to LL」⇒「2012・スピーチコンテスト」に掲載中! >

① There once was a hunter who was a very good shooter. One summer, he went to the deep forest to hunt. After walking a long time, he sat down to rest. He saw a big bear walking along a thin ledge.

① 昔、とても腕のいい狩人がいました。ある夏の日、彼は深い森へ狩りに出かけました。長いこと歩いた後、座って休みました。山の上を見ると、大きな熊が一頭、細い岩棚を歩いていました。



② The hunter said, "This is a chance to shoot that bear." Next, the hunter saw a small bear walking the opposite. He thought, "They can't cross at the same time. They will both fight and fall in the gorge below."

② 「あの熊を打ち落とすチャンスだ。」その時、反対側から小さな熊が一頭歩いてきました。彼はそれを見て思いました。「2頭とも同じ岩棚の上だ。同時にはすれ違えないぞ。ケンカになって2頭とも下の谷に落ちてしまうだろう。」

③ As the big and small bear came face to face, they stopped. He was surprised when the big bear sat down, and let the small bear climb on his back and cross over. After, the big bear got up and walked across the ledge.

③ 大きな熊と小さな熊は向かい合おうと、お互いに立ち止まりました。驚いたことに、大きな熊は座って小さな熊に自分の背中の上を登らせて通してやっていました。そのあと、大きな熊は起き上がって、岩棚を歩いて渡っていきました。

④ The hunter was very impressed. He thought, "These animals know how to help each other. We fight about small things."

④ 狩人は非常に感心しました。「動物たちはお互いに助け合うことを知っている。私たちは小さなことですぐケンカになるというのに。」



⑤ From that day, he stopped hunting and tried to learn more about animals. That area is now preserved. No one is allowed to hunt in "The Ridge Forest."

⑤ その日から彼は狩りをするのをやめ、動物についてももっと知ろうと思いました。その地域は現在、禁(狩)区となっています。それが、「リッジ・フォレスト」です。

- 校内大会で「県大会出場生徒」に選ばれた場合、この課題文は少し長くなります。
- 「練習用CD」にはその逸話も録音されています。あらかじめ「全文の原稿」が欲しい生徒は申し出て下さい。(無料) Simplified from 296 words to 173

The Appalachian-Blue Ridge Forests is a temperate broadleaf and mixed forests ecoregion of the Eastern United States. (from Wikipedia)

# 2012 #35 LL Speech Contest

## The Ridge Forest <県大会用全文> (Grade 4)

©主催:(財)日本LL教育センター LLシホヤ新井教室 [www.shihoya.com](http://www.shihoya.com)

### PC, A4 The Recitation

Ⅲ部:次のクラスに在籍する小学生対象です。  
PC, A4 (下線:中高生以上を含むクラス)



校内大会【小6以下の部】:10月7日(日) 2:00? 5:00 pm at 勤研センター //で小学生の上位入賞者は、この「全文」を「新潟県大会」で、発表します。■「新潟県大会:12月9日(日) at アオーレ・長岡」を予定。詳細が分かり次第、Shihoya Newsなどでお知らせいたします。(中学生の代表2名は、「自作英文」です。)

① There once was a hunter who was a very good shooter. He needed only one shot to kill an animal. He never missed, but he only shot animals when he was hungry.

② One summer, he went to the deep forest to hunt. After walking a long time, he sat down to rest. Looking up at a mountain, he saw a big bear walking along a thin ledge.

③ The hunter said, "This is a chance to shoot that bear." So he got his rifle and aimed at the animal.

④ Next, the hunter saw a small bear walking the opposite way on the same ledge. He thought, "They're both on the same ledge. They can't cross at the same time. When they meet, they will both fight and fall in the gorge below."

⑤ As the big and small bear came face to face, they stopped to talk to each other. The hunter waited for them to fight. He was surprised when the big bear sat down, and let the small bear climb on his back and cross over. After, the big bear got up and walked across the ledge.

⑥ The hunter was very impressed and emotional. He thought, "These animals know how to help each other. We fight about small things, but they can cooperate better than we can. They're more intelligent."

⑦ From that day, he stopped hunting and tried to learn more about animals. He went to the forest and studied them carefully. He spent the rest of his life trying to protect the animals, not kill them anymore.

⑧ That area is now preserved, where animals can be free. No one is allowed to hunt in "The Ridge Forest."

① 昔、とても腕のいい狩人がいました。動物を一頭殺すのに銃弾が1つあれば十分でした。彼は決して狙ったものは逃しませんでしたが、おなかのすいたときにしか動物を殺しませんでした。

② ある夏の日、彼は深い森へ狩りに出かけました。長いこと歩いた後、座って休みました。山の上を見ると、大きな熊がー頭、細い岩棚を歩いていました。

③ 「あの熊を打ち落とすチャンスだ。」狩人はそう言って、ライフル銃を手に取り、その動物に狙いを定めました。

④ その時、同じ岩棚の上を反対側から小さな熊が一頭歩いてきました。彼はそれを見て思いました。「2頭とも同じ岩棚の上だ。同時にはすれ違えないぞ。向かい合ったら、ケンカになって2頭とも下の谷に落ちてしまうだろう。」

⑤ 大きな熊と小さな熊は向かい合うとお互いに立ち止まって何か話していました。狩人はケンカになるだろうと様子うかがっていました。が、驚いたことに、

大きな熊は座って小さな熊に自分の背中の上を登らせて通してやっていました。そのあと、大きな熊は起き上がり、岩棚を歩いて渡っていきました。

⑥ 狩人は非常に感心し、心を打たれました。「動物たちはお互いに助け合うことを知っている。私たちは小さなことですぐケンカになるけれど、動物たちは人間よりも上手に協力し合うことができる。

動物のほうが賢いな。」

⑦ その日から彼は狩りをするのをやめ、動物についてもっと知ろうと思いました。森へ出かけて行って、動物たちを注意深く観察しました。彼は残りの人生を動物の保護に費やし、もう動物を殺すことはしませんでした。

⑧ その地域は現在、禁猟区となっています。そこでは動物たちは自由に生きています。だれもそこで狩りをすることはできません。それが、「リッジ・フォレスト」です。

県大会用・全文



## 2012 #35 LL Speech Contest Recitation:

*The Effect of Colors* 色の効果 <from deep listening-1, L.8>

右のクラスの課題文配布日: A3= 6/20(水), A2= 6/19(火), A1= 6/23(土)

©主催:(財)日本LL教育センター LLシホヤ新井教室 [www.shihoya.com](http://www.shihoya.com)

IV部:どのクラスであっても中高生以上が対象です。(A3, A2, A1, AA, AS の中高生, 成人)

A3, A2, A1



■「クラス予選の日」: 8/25(土)~31(金) i.e. A3= 8/29(水), A2= 8/28(火), A1= 8/25(土) ■英語での前向きな姿勢を高める良いチャンスです。最善を尽くしましょう。ミスをおぼわらず、堂々と心をこめて言えるように、たくさん練習しましょう。■「校内大会」予定日【**中高生以上の部**】: 9月2日(日) 5:00? 6:30 pm at LL School 【**小6以下の部**】: 10月7日(日) 2:00? 5:00 pm at 勤研センター【コンテスト直前に英語劇を披露: 教室生徒, 全員参加!】(I、IIの小1、2年より1~2名、II、III、IV部より小中各2名選出) ■「CD付き資料代」¥500を集金させていただきます。■県大会では: 中学生=「自作英文」の発表。■「新潟県大会: 12月9日(日) at アオーレ・長岡」を予定。詳細が分かり次第、Shihoya Newsなどでお知らせいたします。

<全クラスの課題文は、[www.shihoya.com](http://www.shihoya.com) ⇒「Welcome to LL」⇒「2012・スピーチコンテスト」に掲載中! >

① Many fast-food restaurants have red on their signs. Why do they use that color? You can see red from far away, so it is used for their signs. That is one reason.

① 多くのファーストフード店は看板に赤色を使っている。なぜその色を使っているのだろうか? 赤色は遠くから見えるので、その看板に使われているのだ。それは理由の一つである。

② But the most important reason is this: red is a color which makes you hungry. Yellow and green can also make you hungry, and they are used for their signs, too.

② しかし、最も重要な理由はこうである。赤色は人に空腹を感じさせる色なのだ。黄色と緑色も空腹を感じさせるので、それらの色も看板に使われている。

③ Please look at the sign of the fast-food restaurant when you go there next time.

③ 次にファーストフード店に行ったら、看板を見て下さい。

79 words



●今年度は、字数を極端に少なくしてみました。短いから楽なのではありません。発音は元より、Activityがより重要になることを実感してほしいのです。  
●英語らしい発音の基本「等時性」から指導してゆきます。

## 2012 #35 LL Speech Contest Recitation:

*The Cost of Cigars* 葉巻の値段 <from deep listening-3, L.8>

右のクラスの課題文 配布日 : AA= 6/21(木)

© 主催:(財)日本LL教育センター LLシホヤ新井教室 [www.shihoya.com](http://www.shihoya.com)

IV部:どのクラスであっても中高生以上が対象です。(A3, A2, A1, AA, AS の中高生、成人)



■「クラス予選の日」: 8/25(土)~31(金) i. e. A3= 8/29(水), A2= 8/28(火), A1= 8/25(土), AA= 8/30(木) ■英語での前向きな姿勢を高める良いチャンスです。最善を尽くしましょう。ミスをおこわらず、堂々と心をこめて言えるように、たくさん練習しましょう。■「校内大会」予定日【中高生以上の部】: 9月2日(日) 5:00? 6:30 pm at LL School 【小6以下の部】: 10月7日(日) 2:00? 5:00 pm at 勤研センター 【コンテスト直前に英語劇を披露: 教室生徒、全員参加!】(I、IIの小1、2年より1~2名、III、IV部より小中各2名選出) ■「資料代」特別に、¥0 (deep-3, L.3使用のため) ■新潟県大会: 12月9日(日) at アオーレ・長岡」を予定。詳細が分かり次第、Shihoya Newsなどでお知らせいたします。(中3までが対象) <全クラスの課題文は、[www.shihoya.com](http://www.shihoya.com) ⇒「Welcome to LL」⇒「2012・スピーチコンテスト」に掲載中! >

W: How many cigars do you smoke a day?

M: About ten.

W: What do they cost you?

M: Two dollars apiece.

W: My, that's twenty dollars a day. How long have you been smoking?

M: Thirty years.

W: Twenty dollars a day for thirty years is a lot of money.

M: Yes, it is.

W: Do you see that office building on that corner?

M: Yes.

W: If you had not smoked in your life, you might have owned that fine building.

M: Do you smoke?

W: No, I never did.

M: Do you own that building?

W: No.

M: Well, I do.

W: ...

W: 一日に何本、葉巻をお吸いですか?

M: 10本くらいだな。

W: おいくら?

M: 1本が2ドルだよ。

W: まあ、それじゃあ、1日に20ドルってことじゃないですか。吸い始めてどのくらいに?

M: 30年だね。

W: 1日に20ドルを30年間なんて、大変な金額ですわよ。

M: そうだな。

W: 角にあるオフィスビルがご覧になれます?

M: ああ、見えるよ。

W: 今まで葉巻を吸わなかったら、あなたはあのすばらしいビルを持っていたかも知れませんわよ。

M: あんたは、葉巻を吸うんかい?

W: まさか。

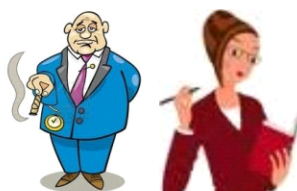
M: あんたは、あのビルを持っているのかい?

W: いいえ。

M: そうだろうね。あのビルは僕のものだからな。

W: ((+\_+))

$20\$ \times 365 \text{ days} \times 30 \text{ years} = 219,000\$ \times 78.86 \text{ yen (Exchanging rate on 6/17th/12)} = 17,270,340 \text{ yen}$



80 words

今年度は、字数を極端に少なく、「落語」形式の題材を選びました。短いから楽なのではありません。目標は、Listeners を笑わすことができるかどうかです。

